

復活祭 2016年

贖いの可能性はなく、立ち上がらせるために差し伸べられる手はなく、あなたを救い、赦し、慰め、忍耐強く、寛大で限らない愛で満たす抱擁はなく、あなたを立ち返らせるものは存在しない。こう信じていることがわたしたちの置かれている時代のもろさでもあります。いつくしみの抱擁を体験する時、誰かに抱きしめられることを受け入れる時、感動する時、その時、人生は変わることができます。なぜなら、その思いがけない大きな恵み、人間的には“不当”にさえ思える、あり余るほどの恵みに応えようとするからです。

教皇フランシスコ

百人隊長がイエスを見た時、サマリアの女が自分のすべてを見抜かれ見つめられたと感じた時、姦通の女が《わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。そしてこれからは、もう罪を犯してはならない》と言われた時、ヨハネとアンデレが自分たちを見つめ話しかける顔を見た時、それはイエスの存在に浸る時であった。

ご自分の義を与えられるキリストの存在に身を浸し、彼を見つめること。これがわたしたちを根源から変える回心である。つまり、彼によってわたしたちが赦された者となるのである。彼を見つめるだけ、彼のことを考えるだけ、それだけで赦されるのである。

ルイジ・ジュッサーニ

コムニオーネ・エ・リベラツィオーネ